

2013 夏の水害を振り返って

それぞれの被災地、どうなっていたの？

日時：10月27日（日）16時～18時

場所：名建協 1F 会議室（名古屋市東区泉 1-13-34）

参加費：500 円（会場代、資料代等）

2013 年夏、全国各地で記録的な豪雨による被害が発生！

震災がつなぐ全国ネットワーク（以下、震つな）では、日ごろからつながりのある団体が各地で支援活動を行ったけれど・・・動けた範囲やできたことは限られたようにも感じました。改めてこの夏の活動を皆で振り返り、各地の取り組みの違いや地域性、良かったこと、改善したいことを共有したいと思います。

震つなの皆さん！被災地での話、本音で語ってもらいます！

「ぶっちゃけどうだったの？」という話をゲストの皆さんから聞き出して、それぞれの活動に活かしていきたいと思います。今回の企画、震つなの定例会が名古屋で開催されることになったので実現できました。全国の皆さんが名古屋に集まる貴重な機会です。東は宮城県気仙沼から、西は神戸まで、震つなという全国のネットワークと名古屋の仲間もつながれるといいですよ！

ゲストへの質問、たっぷり受け付けます！

裏面の申し込みフォームに質問をお書きいただけます。当日すべての質問にはお答えできませんが、時間の許す限り、ゲストの皆さんにざっくばらんに質問に答えていただきます。※質問は当日受付時まで受け付けます。

年齢層も出身地もバラバラ、共通するのは支援活動へのアツい想い！
という濃～いメンバーが揃います

★ゲストスピーカー

- ① 松山 文紀（震災がつなぐ全国ネットワーク事務局長）西伊豆町の水害支援
- ② 頼政 良太（被災地 NGO 協働センター）山口県の水害支援 ～神戸から～
- ③ 河内 毅（国際復興支援チーム中越）地元中越での支援 ～新潟から～
- ④ 笠原 一城（シャンティ国際ボランティア会）被災体験から支援へ ～気仙沼から～
- ⑤ 栗田 暢之（RSY 代表理事）名古屋での支援 ～名古屋から～

★コーディネーター 渡辺 日出夫（ADRAJapan）～東京から～

★コメンテーター 矢野 正広（とちぎボランティアネットワーク事務局長）～栃木から～

★総司会 松田 曜子（関西学院大学／RSY 理事）～西宮からお久しぶりです！～

■18:30～ゲストを囲んでの懇親会も予定しています。他にも支援に関わったメンバーが集まります！ぜひご参加ください。

■スケジュール

時間	内容	内容	所要時間
16:00～	挨拶	栗田暢之（RSY 代表理事／震災がつなぐ全国ネットワーク代表）	5分
16:05～ 17:20	シンポジウム	ゲストスピーカー5名による各被災地での支援活動のお話	5名×15分
17:20～ 17:55	ざっくばらんに 意見交換	事前に集まった質問に答える形で意見交換を進めます どんな話の展開になるかはお楽しみ！ 素朴な疑問も大歓迎！ぜひ皆で有意義な時間を作りましょう。	35分
17:55～ 18:00	★今後のイベントのお知らせ	レスキューストックヤード事務局より	5分

★18:30～栄周辺の居酒屋で懇親会を予定しています。

■申し込みフォーム

※FAX:052-253-7552 または 同様の内容を info@rsy-nagoya.com へお願いします。

お名前(ふりがな)	()
メールアドレス	@
携帯電話番号	
ゲストへの質問	
懇親会参加	参加 ・ 不参加

★事前申し込みをお願いします。(定員 30 名)★申し込み締め切り:10月20日(日)

■主催：レスキューストックヤード ■共催：震災がつなぐ全国ネットワーク

■お問い合わせ：レスキューストックヤード事務局 担当：加藤

(メール：info@rsy-nagoya.com 電話：052-253-7550)

★震災がつなぐ全国ネットワークとは？

震災がつなぐ全国ネットワーク（略称：震つな）は、阪神・淡路大震災を機に共生型社会の大切さに気づかされた全国に点在する人々が、互いの違いを認め合いながら、過去の災害が教えた課題をともに学び、提言し、今後の緊急時には共に動くことを目的として1997年に設立したネットワーク組織です。2005年よりRSYに事務局を置いています。緊急時は毎年繰り返される災害の支援活動を行い、平常時は移動寺子屋・ブックレット作成を通して防災・減災の活動を行っています。東日本大震災発生後は、東京に緊急的に事務局を置き、加盟団体よりスタッフを派遣（RSYからは松田曜子さん（当時・RSY事務局長）を派遣しました）して、加盟団体が活動する東北の被災地へ足湯隊を派遣しました。集めたつづばきは16,636枚。ひとりひとりの声を大切に活動しています。